

# 1000までの数，ならべ隊！

単 元	100 をこえる数	対象学年	2 年
ね ら い	100 をこえる数についても，これまで学習してきた2位数の構成と同様に数が拡張されているというイメージをもつことができるようにする。		

## 1 準備するもの

教師：黒板掲示用に拡大した数の表（1～100，101～200，10～1000），数字カード

## 2 学習のしかた

- (1) 1～100の数の表を見て，気付いたことを発表し合う。
- (2) 101～200，10～1000の数の表にも，(1)で見つけた法則性が当てはまることに気付けるようにする。
  - ・101～200も1～100と同じように，縦や横の数の増え方などの法則が当てはまることを確認する。

(例) 101～200までの表

- ・表を横に見ると，1～100までの表と同じで1ずつ増えている。
- ・表を縦に見ると，1～100までの表と同じで10ずつ増えている。



表を使った発表

- (3) 10～1000の数並べゲームを行う。
  - ・10～1000までの100枚の数カードと10×10ますを用意する。
  - ・数カードを並び終える時間を計り，ペアやグループで競う。



数カード並べ

## 3 学習上の留意点

- ・1～100の数の表で気付いたことが，別の数の表でも当てはまることを確認するために，表を提示するときに板書が隠れないようにする。
- ・10×10ますのよさをいかした法則性に気付けるように，横並びだけでなく，縦の並びに着目したり，位ごとに数を見比べたりするような声掛けを意識する。
- ・縦横の数の並び方の法則は，数並べゲームの際にも活用できることを確認する。

## 4 学習の効果

- ・1～100の数の並びと，101～200の数の並びとの法則の類似性が見いだせることで，その先の大きな数の見通しをもつことができる。
- ・1～100の数の並びと，10～1000の数の並びとの類似性に気付くことで，大きな数への抵抗感を減らすことができる。

5 参考資料（コピーして使えます）

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
110	120	130	140	150	160	170	180	190	200
210	220	230	240	250	260	270	280	290	300
310	320	330	340	350	360	370	380	390	400
410	420	430	440	450	460	470	480	490	500
510	520	530	540	550	560	570	580	590	600
610	620	630	640	650	660	670	680	690	700
710	720	730	740	750	760	770	780	790	800
810	820	830	840	850	860	870	880	890	900
910	920	930	940	950	960	970	980	990	1000